

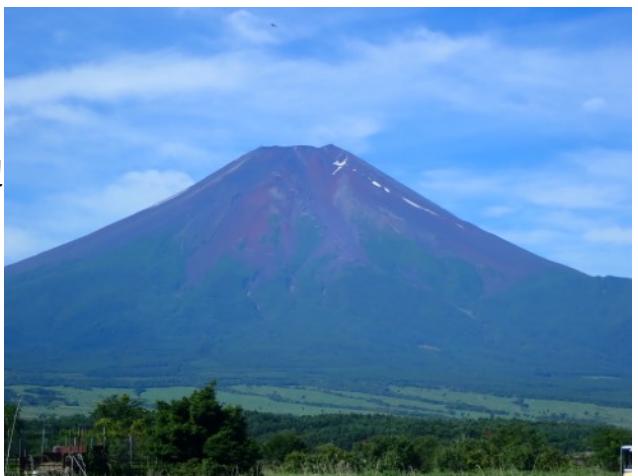
## 2025Wcamp 4 7月27日（木）から30日（月）天水ポンプ修理・安曇野見学・来客

2025年は梅雨入り宣言されてから、雨が降らない。27日から30日も梅雨の中休みのようで、長野は連日良い天気になりました。市内は33°C、山荘は24°Cぐらいで、気温差は6~7°C。朝から野鳥と春蝉が鳴き、森も賑やかになってきました。

松田を6時に出発、山中湖・河口湖・甲府盆地を通り、須玉からR141号線で、清里そして野辺山高原を通過すると八ヶ岳は雲の中でした。忍野八海あたりからの富士山は鳥の形の雪が残っていましたが、夏山の色になっていました。

佐久市内で買い出しをして、山荘には12時に到着。気温は21°C、晴れ、夏草がだいぶ大きくなっていました。草刈機が故障しているので側道から山荘までは道が見えないほど茂っています。

ログハウスは殺虫のため（アースジェット）閉鎖して噴射。ホール室内の清掃をしてから韋崎の「八ヶ岳ブレッド」で買って来たパンとスープで昼食。休憩後に食料と荷物を運び入れてから、各棟を開錠、換気をおこなう。15時ごろに温泉（一万里温泉）に行つて、帰りに「ツルヤ」で買出し。17時には夕食（豚キムチとサラダ）寒くなってきたので薪ストーブを焚いて暖をとる。21時には就寝



6月28日（土）5時起床 14°C 曇り（雲の中） 寒いので薪ストーを焚く

朝食はほうじ茶とヨーグルト+フルーツ

今日は安曇野のアウトドアショップで開催される「大人と子供のナイフ講座」を見学に行くことにした。主催は友人たちが作っている「GWW長野チーム」。7時30分に山荘を出発して、立科-R254-鹿教温泉-梓川を渡れば安曇野市（約二時間）会場の「遊んで学べる森の中のアウトドア用品店 YAZ」は別荘地の中にありました。外壁が焼杉で作ってあるので、真黒の建物です。参加者は午前中、1F（4名）午後は申し込みなしと低调でしたが、チーム長野の家族も参加していたのでとても賑やかでした。モルックやわら細工のグループもあり、楽しく遊ばせていただきました。友人のセトちゃん、後町さんにも会えて情報交換できました。

12時ごろに会場を出発、東御の尾方さんの別荘に向かいました。



昼食は蕎麦処の「ざるそば」手打ちの麺は細く、つゆも美味しく、流石信州のそばは美味しいリーズナブルでした。

朝通ったR254号線を戻って、東御の尾形邸（別荘）へ、ナビに任せたら途中うとんでもない山道に入ってしまいましたが、林檎ばたけ（五輪久保）を抜けるともう別荘の目の前に到着しました。

玄関で声を掛けても、出てこないので裏に回って工房にいくと尾方さんが何か作業をしていました。挨拶をして（久しぶりです・1ヶ月ぶり）早速、足踏みろくろを見学。よく作ったな～

沢山のく工夫うがあり、まだ改良しなければいけない



ようです。一番の問題は、トルクが弱く大きな物は（器）挽けないようです。

母家に入って、奥様にご挨拶。お土産に八ヶ岳ブレット（フルーツ一杯）とあわび茸（珍しいきのこ）1時間程情報交換して、16時には山荘に向けて出発。途中で、「権現の湯」でさっぱりとツルヤで買い物。

山荘には18時ごろ到着、夕食はあわび茸のソテー、ミョウガのマリネ、マグロのヅツにトロロ。冷えてきたので薪ストーブを焚きました。21時就寝。

6月29日（日） 6時起床（少し寝坊） 16°C 快晴です

ログハウスの南側に子鹿が来ている、こちらを見張っているような様子で、少しすると森の中に飛び込んでいった。朝食は焙じ茶とヨーグルト+フルーツ。



今年も山荘に「深山クワガタ」が来てくれました。  
(4年連続)  
体長は60mmほどあり、背中は緑色に光っています。



午前中に東京から訪問者の予定があるので、それまでの時間は木工作業所で蒸し器の蓋作りと子ども用削り台の修理を行いました。増田さんは場内案内図（イラスト）に記入する植物の同定（確認）作業を行っていました。



木の使い方を間違えているので、割れてしまった。ビスで補強して木工ボンドで接着



9時30分（予定より30分早く）ごろに、黒川さん到着。鍛治仕事に使う、火挟を3本持って来てくれました。（助かる）ホールにて、珈琲を飲みながら、5月に実施した登山教室について説明があり、次回は「大自然のひろば」を使いたいという意向でした。

口ケットストーブ（ペール缶）の構造と理論がわからないというので、ログハウス前で燃焼実験をして説明しました。構造は至極簡単で、火口で小枝を燃焼させると煙突内で対流が起り、ペール缶上部に炎が噴出する。実験で大体の理論は理解した様子でした。自宅で、制作すると言っていました。

ログハウスに移動して早めの昼食（カレーうどん）。12時ごろ、渋滞が始まる前に黒川さん帰宅。

午後からは蒸し器の蓋に取っ手を付けたり、削りうま（小型）に足をつける穴あけの仕上げ。そしてホールの雨水ポンプを設置して試運転の予定。



尾方さんが特殊な接着剤で修理したポンプをタンクにつないで、試運転をしようと「呼び水」を入れたところ修理部分からは漏れがなかったのですが、本体下部から水漏れがあり、これでは修理不可能なので、再購入の予定。

16時に作業を終えて、温泉に出発。山荘の気温は26°C、快適な気候です。佐久市内に入ったら、33°C、山荘とは7°Cほど気温が高く、厳しい暑さです。帰りにツルヤで買い物をして山荘に18時着。

暗くなる前に蒸し器の蓋を塗装。3回塗るので、今夜一度塗装してから、明日の午前中にあと二回作業できそうです。

夕飯は野菜炒め・マグロの山かけ・玉ねぎとシーチキンの和え物そしてビールでした。21時就寝



6月30日((月)) 6時10分起床 外気温16°C 室内23°C はれ  
少し寝坊して、ほうじ茶とヨーグルト+フルーツの朝食。

親子のナイフ講座について、募集定員の半数ほどしか応募がないので、今までに参加した皆さんに案内文を作成することにする。iPadを使用して15分ほどで、作成した文章を増田さんに確認していただき、横浜に帰ったらダイレクトメール発信することにした。

11時を目標に片付けと、残っている作業（塗装など）を行なった。ゴミを燃やして、生ゴミはコンポストに入れる。

蒸し器の蓋は塗装されて綺麗に仕上がった。取っ手は枝を利用して、裏からビスドメ、ダボを入れて金属が見えないように加工した。ちょうど良い煙突があったので、持ち帰り加工して使用する。大型の寸胴もホールにあったのでこれを利用することにした。

場内のカラマツに「梅の木苔」がいっぱい付いているのでこれを採取。アンモニアと混ぜて発酵させると天然の染料になる。絹などを染めると、気品ある紫色に染まるので、これを増田さんが採取して持ち帰ることにする。



また新しい楽しみが増えました。  
11時山荘を出発、帰路につきました。お疲れ様でした。

次回は7月中旬の予定。